

87

古工建友会事務局 〒989-6145 宮城県大崎市古川北稲葉3-13-21 古工建友会倶楽部内
Tel&Fax 0229-24-3711 <http://kenyukai.net> E-mail: f_kenyukai@ybb.ne.jp

大同団結・互助互恵

発行人：早坂 竜太

建	友
会	報

大崎市産木材の活用で地産地消の実現へ



竣工パース 供用開始は令和3年10月上旬(予定)

大崎市鳴子総合支所庁舎等複合施設
新築工事

大崎市鳴子温泉地域鷺ノ巣地内

工事概要

①総合支所庁舎

- ・構造：木造（CLTパネル工法）2階建
- ・建築面積 1,472.90㎡ 延床面積 1,845.20㎡

②おもいやり駐車場

- ・構造 鉄骨造平屋建
- ・建築面積 27.43㎡ 延床面積 40.55㎡

③車庫及び倉庫

- ・構造 鉄骨造平屋建
- ・建築面積 159.00㎡ 延床面積 159.00㎡

大崎市建設部 建築住宅課 庁舎建設室

佐々木 昭(36回)

「大崎市鳴子総合支所庁舎等複合施設」は、鳴子温泉地域にある老朽化著しい「鳴子総合支所庁舎」と「鳴子公民館」を、新たに複合施設として整備するものであり、将来に亘って市民の皆さまに親しまれる施設になることを目指しています。

大崎市では、平成25年に策定した「大崎市の公共建築物における木材利用の方針」に基づき、市で整備する施設の木造化や木質化に積極的に取り組んでいます。

これまで大崎市では、一昨年2月に供用を開始した「大崎市田尻総合支所庁舎」、同じく7月にオープンした「道の駅おおさき」、同じく10月にオープンした「大崎市子育て支援拠点施設(わいわいキッズ大崎)」, 昨年10月にオープンした「三本木パークゴルフ場クラブハウス(CLTパネル工法)」などを木造で整備し、平成29年7月にオープンした「大崎市図書館」はRC造ながら大崎市産の木材を床や壁にふんだんに使って木質化を図りました。

建設地である鳴子温泉地域は、中山間地域であり、森林資源が豊富であることから、この施設では、地域資源である「木材」を多く使用できる「CLTパネル工法」を採用しました。

これは、林業の活性化や、建設を通じてCLTパネル工法の普及・発展につながることを期待するもので、この施設の木材は、土台を除き全て大崎市産で、このうち「CLTパネル」と

「集成材」には、建設地である鳴子温泉地域産を使用しています。

また、施設の計画にあたっては、東北大学大学院の前田研究室が研究・開発した「CLTの小幅パネルを大型パネル化するための接合方法」を採用し、国土交通省所管の国庫補助事業である「サステナブル建築物先導事業(木造先導型)」の採択を得ています。

この接合方法を採用することで、市内(県内)の森林で伐採した木材を、県内の工場でラミナ材に製材し、それを使って県内の工場でCLTパネルを製作・加工し、市内(県内)の建設業者が施工するという「県内で完結する建築生産システム」が構築されます。

さらに、伐採適齢期を迎えた森林資源の有効活用や森林の健全化にもつながることから、一つのモデルケースとして県内に定着することも期待しています。

最後になりますが、新型コロナウイルスの感染拡大で不自由な学校生活を送っている在校生への情報発信として、1・2年生を対象に、昨年11月9日に石巻市でCLTパネルのプレカット工場見学会を、1月20日には建設工事現場で構造見学会を開催しました。

竣工後には完成見学会を予定しており、在学中に一つの建物が出来上がっていく姿を見ることで、一連の流れのどこかに興味を持ち、木の関わることも含め、将来に渡って建築に携わってくれることを期待します。

関連記事 P2へ→

建友会公式HP <http://kenyukai.net> 公式Twitter @f_kenyukai

大崎市鳴子総合支所庁舎等複合施設 新築工事



木造での大空間を実現!広々とした内部執務室 1,2階通しのCLTパネルと接合金物

～本事業に携わる建友会員～

◇大崎市建設部 建築住宅課

渡邊 義昭(32回)
佐々木 昭(36回)
黒田 幸司(39回)
猪股 洋一(50回)
齋藤 亮汰(63回)
武田 亜梨沙(64回)

◇鬼沢建築設計室

鬼沢 和雄(19回)
◇(株)村田工務所
宮嶋 昭彦(25回)
加藤 佑也(68回)



宮澤 忠一

(古工建友倶楽部館長・21回生)

2020年のPG回数は、コロナに負けず203回でした。1日約10km歩くので昨年は2,000km歩いた事になります。健康的スポーツですよ。

冬にJR大人の休日倶楽部を利用して一人食べ歩き旅行。1日目、新潟で昼食。たれカツ丼(卵を使わないカツ丼)夜は居酒屋で海の幸。2日目、8時に地上125m朱鷺メッセ展望台から万代橋など市内を一望。昼は直江津で海鮮丼。その後長野市に移動。夜は信州戸隠そばと郷土料理。3日目、8時に善光寺参り。その後水戸市に移動、昼食は大洗港であんこう鍋定食。夜はカウンター焼肉店でホルモン。4日目、昼に宇都宮で水餃子と焼き餃子。夜、自宅でいつもの晩酌。楽しい4日間でした。



1967



2021

団塊の世代と言われた年代の思い

池田 康明(20回)

1949年生まれ。団塊世代の最終年に生まれた世代が71歳を過ぎ卒業後54年になろうとしている。

中学3年時、東京オリンピックが開催され白黒テレビがやっと普及しはじめた。オリンピック景気の余韻で建築ブームが持続していた1965年、古工に入学しました。建築科は40人の定員に50人入学と、今では考えられないくらい教室は机がいっぱいで身動きもできない状態でした。

入学当初、今でも鮮明に覚えているのが「セミの鳴きまね」です。当時、各科対抗体育祭での応援合戦の為、上級生の命令により強制的に放課後練習がありました。何とかして「さぼろう」と、あさはかな知恵を働かしたつもりでおりましたが、すべての出口に先輩が張り付いており、さぼるところではありませんでした。

リレー寄稿 みんな古工生だった

それでもやっぱり

さて「セミの鳴きまね」ですが、応援の練習中、3年の先輩から「纏まりがない。声が小さい。態度が悪い。」などとクレームを付けられ、罰として「その電柱にしがみついてセミの鳴きまねをしろ!」と言われ、本当に「ミーンミーン」とセミの鳴きまねをさせられていた様に驚愕し、もしや次は俺の番なのか?と一生懸命に練習をしたものでした。

学校には鹿島台駅から汽車で通っていました。小牛田駅では女川及び石越方面から合流。当時未だ蒸気機関車だった陸羽東線は古川市内5高の生徒でいっぱいでした。デッキの扉は開け放して機関車の煙なのか...の煙なのか、なかなか青春の一コマです。

50人が入学し50人全員が卒業出来た3年間。同級生との絆、そして先輩後輩の何たるかを学べた事は諸先輩方に深く感謝です。

今年は丑年生まれの年男ですが、1949年生まれが未だに211万人と最多、団塊の世代は今しばらく続きそう!

コロナ禍の中、早い終息を願います。

職業訓練校では、現場ですぐに実践できるように、実演型の授業に工夫を凝らした。工具や材料の選び方まで生徒の質問にはとことん付き合ひ、今では百人以上の生徒を大工として世に送り出してきた。

母校建築科においては「大工技能検定」や「高校生ものづくりコンテスト」の木造加工部門など、主に感覚的な加工技術を必要とする場面での技術指導を行っている。

「大工が憧れる大工になつてほしい。これからも木造に對する熱い情熱を生徒一人一人に伝え続ける。」

令和二年「秋の叙勲」において、母校建築科技術指導講師である角田勝美氏に「瑞宝章」が贈られた。

角田氏は本業の傍ら三十六年にわたり職業訓練校などで若手大工の育成にあたってきた。

幼い頃からもの作りが得意で、中学を卒業すると迷わず近所の工務店に弟子入り。厳しい修行を積み、二十四歳で独立した。



角田 勝美氏
職業訓練指導員
古工建築科
技術指導講師

祝
瑞宝章
光章受章

建築科ニュース

前号でお伝えしたとおり、コロナウイルス感染症対策のため夏のインターハイ、OBおよび在校生スポーツ交流会、インターンシップ、修学旅行などが中止となった。

生徒諸君は、新しい学校生活のスタイルを模索しながら、「当たり前ではない環境の中で、今できることに取り組もう！」を合言葉に励んでいる。

■新入生歓迎合同ホームルーム

例年は4月に実施している新入生歓迎合同ホームルームもコロナの影響で半年遅れの10月7日に実施した。建築科の縦のつながりを強固にする伝統の行事。新入生は、先輩を前に一人ひとり、元気に自己紹介を行った。3年生は、お得意の一発ギャグを披露し、熱烈歓迎した。



■職場見学会

8月27日、職場見学会を各学年で実施した。1年生は、「宮城県図書館と利府ハウジングギャラリー」、2年生は「宮城県美術館と(株)福田組のマンション新築工事現場」、3年生は「石巻市複合文化施設新築工事現場」を見学後、建友倶楽部を訪問した。



■第34回体育祭



感染症対策として、例年より期間を短縮。競技種目も密にならないように配慮し2日間で実施した。建築1年生は、女子生徒の活躍が目立ち、サッカーと長縄とびで種目別優勝、スポーツ玉入れも第2位と健闘し、学年総合優勝の栄

冠を手にした。2年生・3年生も頑張りを見せ、学科対抗は、第3位だった。



■「古工展」(10/23)!

今年の古工展は、一般公開せず、校内発表のみで行った。テーマは「全集中 古工の呼吸七四七ノ型 青春 ～古工展しか勝たん～」。

◆展示発表部門

最優秀賞 建築2年「箱形お化け屋敷」

優秀賞 建築3年「迷宮脱出タイムアタック」

◆ステージ発表部門

最優秀賞 ダンス部



■現場見学会

大崎市役所はじめ各企業様の受入れにより見学会を実施した。大崎市役所鳴子総合支所複合施設等建設工事現場(10/6) 大崎市民病院鳴子温泉分院新築工事現場(10/6)



CLTパネルプレカット工場見学(11/9 株式会社 山大)



北から南から 一事務局把握分一

(令和2年7月以降判明分)

※個人情報保護のため、個人の住居を簡略表示とし、電話番号も掲載いたしません。

賛助会員

[謹慶] 令和2年「秋の褒章」黄綬褒章受章
大槻秀樹氏 (阿部建設(株)代表取締役)
[住所変更] (株)センソク様
仙台市若林区蒲町東 10-13

旧1～72回 <敬称略>

- ◆1038 千葉 三男 京葉興産(株)相談役
- ◆2023 菅原 繁利 茨城県龍ケ崎市に転居
- ◆5822 佐々木雄二 向井建設(株)東北支店秋田営業所
- ◆5930 千葉 里美 アルプスアルパイン(株)浦谷工場
- ◆6713 佐川 水紀 新みやぎ農協いわでやま支店
- ◆7127 関 秀輔 キオクシア岩手(株)

古工建友会事業記録 <令和2年8月～>

■建築科3年生古工建友倶楽部訪問

[8月27日(木)・36名]

73 回生となる建築科 3 年生が、コロナ禍と酷暑の中、全員マスク姿で訪問してくれました。早坂会長と宮澤館長が迎え「令和 4 年に 50 周年を迎える古工建友会は、全国にも例のない唯一無二の会である。」卒業後は各支部総会への参加を!と呼びかけました。

■第37回大崎支部総会「大崎のつどい」

[9月19日(土) アインパル浦島・25名]

コロナ自粛中での開催の為、感染予防対策を充分にとりながら会員同士の交流を深めました。懇親会では青年部の進行で「ビンゴ大会」が行われ大変盛り上がりしました。校歌斉唱の代わりに「45 周年記念大会DVD」を鑑賞。佐々木幸正氏(27回)の手締めにより盛会裡に終了いたしました。(幹事長小林弦・41回)

■就職模擬面接

[10月7・8・9日・古工建友倶楽部・対称生徒18名・面接官延15名]

コロナの影響等もあり、例年より一月遅れの実施となりました。緊張の中、皆さん受け答えもしっかり出来、大変関心いたしました。本番でも明る

謹弔

<令和2年7月以降判明>

- 0228 林 信二さん(令和2年1月13日死去)
- 0503 浅野 登さん(令和2年4月5日死去)
- 1009 大衛貞夫さん(令和2年12月死去)
- 1401 浅野吉弘さん(令和2年7月25日死去)
- 賛助会員
(株)三塚内装 代表取締役社長 三塚 富生さん
(令和2年12月16日死去)

謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

ページの大幅減。
時節柄お許しください<(_ _)>

子供のころ、母の仕事のお付き合いで度々同行した古川市役所。市内でも空の広い地域で育った私にとって、RC3階建ての庁舎は由緒ある立派な建物だと信じていました。過ぎし年月40数年…(旧)と表現される大崎市の公共建築物は次々と更新の時期に差し掛かっているようです。携わる会員皆さまの活躍と共に故郷の進化もお届けします!(編集部長4541)

く元気に自分をアピールしてきてくださいね!

<面接官> 宮澤忠一(21回)、板垣力(25回)、木村哲夫(29回)、猪股昭一(29回)、藤山吉彦(30回)、門脇二郎(37回)、小林弦(41回)、佐藤優(42回)、三塚猛(42回)、小坂井康弘(45回)、紺野道子(46回)、遠藤秀春(47回)、佐藤敬太(48回)、高橋俊大(58回)。面接官の皆さま、貴重な時間を割いてご協力いただき感謝申し上げます。

(事業部長 小坂井康弘・45回)

■第15回三役会

[11月16日(月)・6名]

- ・運営委員会 / 建築科・建友倶楽部交流会延期決定
- ・本部役員会及び総会日程について

☆結婚おめでとう☆

<令和2年7月以降判明分>

☆5831 竹中 裕一さん

*披露宴には本部から祝詞をお送りします。事前に連絡下さい。

☆資格取得者☆

次の方たちが、資格を取得されました。
心から祝意を表します。

(令和2年7月以降判明、事務局把握分)

- ◆一級建築士 6213 日下 健
- ◆二級建築士 6717 佐藤 大樹

古工建友会「本部役員会」と「総会」のご案内

下記の内容で「総会」を開催致しますのでご案内を申し上げます。尚、一般会員の皆様は総会のみの参加となります。

日時：令和3年4月24日(土)

15時～「本部役員会」

16時～「総会」

場所：古工建友倶楽部 TEL0229-24-3711

大崎市古川北稲葉 3-13-21

※会場準備の関係上、出席される方は建友倶楽部までご連絡ください。※新型コロナウイルス感染症の動向により、開催場所の変更や、書面議決の可能性もございます。その際は古工建友会ホームページでお知らせいたします。

古工建友会賛助会会員ご芳名 [64社・3個人] 敬称略

(株)愛建工業 青木工務店 一級建築士事務所 阿部建設(株) (有)エイミツ (株)泉商店 (有)伊藤鐵工 (株)ウエスト工房 (株)浦島 アインパル浦島 en architects (株)大崎防災 ONO 一級建築士事務所 門脇建設(有) (株)金原土建 (有)鎌田板金工業 菊池和子(有)クラフト 巧成建設(株) 孝設計 (株)後藤鐵工 佐々木幸正建築設計室 佐藤工業(株)東北支店 (有)サトー商会 (有)三信建設 (有)シーアイ設計 (有)白鳥設計 新日本商事(株) 菅原政隆建築設計事務所 (株)鈴木弘人設計事務所 鈴木文男 (株)センソク (株)仙北建設 (有)仙北シロアリ タイコ(株) (有)太子堂造園 (株)ダイマル (株)高勝リフォーム 武部防水工業所 (株)チバミン 只野 悟 中外商工(株)東北支店 鶴秀工務店(株) 東北北イノアック 日建学院仙台校 (株)日本トワイハック印刷 原建築設計事務所 (株)バリュー・ザ・ホテル宮城 (株)ピーエス技研 菱中建設(株)石巻支店 (株)美装社 (株)檜工務店 (有)ヒロプランニング (株)富士工 (株)富士電工 (株)藤山工務店 古川ガス(株) 古川土地 フルテック(株)古川営業所 (株)プロウイング 豊和建設(株) 丸か建設(株) (株)三塚内装 三菱重工環境・化学エンジニアリング(株) (株)村田工務所 (株)木材スーパーエンドー YKKAP(株)仙台ビル建材支店 ワタヒョウ(株)

運営維持カンパご協力者

皆様の熱い思いに感謝致します!

【R2.7.1～12.31】敬称略

(株)江村工務店	6,000 円
匿名	1,000 円
213 佐々木繁雄	2,000 円
321 佐々木 守	2,000 円
331 鈴木 弘人	5,000 円
413 軽部 久	2,000 円
612 小川 寛	5,000 円
912 鹿野 功	3,000 円
1038 千葉 三男	1,000 円
1047 門間 慶幸	2,000 円
1219 佐野 英雄	3,000 円
1233 高橋 昂	3,000 円
1305 五十嵐直喜	2,000 円
1334 田口 浩	2,000 円
1335 近岡 鉄男	2,000 円
1416 熊居 鉄雄	3,000 円
1426 佐々木 稔	3,000 円
1622 関口 幸平	5,000 円
1742 門田 純一	2,000 円
1828 高島 強	3,000 円
1844 吉田直三郎	5,000 円
2017 佐々木富三男	2,000 円
2042 本郷 敏昭	2,000 円
2134 千葉 幸悦	2,000 円
2142 伊藤 博雄	2,000 円
2219 佐々木栄悦	2,000 円
2225 白鳥 淳	3,000 円
2321 千田喜美夫	5,000 円
2325 菅原 公生	4,000 円
2331 直枝 正志	3,000 円
2340 吉田 徹	3,000 円
2341 渡邊 清勝	3,000 円
2406 岡崎 昌昭	2,000 円
2507 氏家 忍	2,000 円
2514 黒木 一吉	3,000 円
2532 千葉 秀則	3,000 円
2541 板垣 力	5,537 円
2611 石崎 政彦	2,000 円
2613 小出順一郎	3,000 円
2733 高橋 清一	3,000 円
2737 中川 俊夫	3,000 円
2829 高橋 和弘	2,000 円
2905 猪股 昭一	2,000 円
2927 杉浦 洋一	2,000 円
3007 内海 正	2,000 円
3206 小島 清春	1,000 円
3311 大場 善浩	3,000 円
3329 高橋 広幸	2,000 円
3402 石川 雅博	2,000 円
3614 佐々木 昭	2,000 円
3719 鎌田 良和	1,000 円
3811 熊谷 健治	10,000 円
4014 斎藤 健一	3,000 円
4219 佐藤 昌運	2,000 円
4231 早坂 広明	2,000 円
4424 菅原 政博	5,000 円
4527 高橋 恭子	1,000 円
4608 喜藤 純也	1,000 円
4619 菅原 謙一	1,000 円
5822 佐々木 雄二	10,000 円
6213 日下 健	3,000 円
6610 大黒さやか	2,000 円
6701 有川 太真	2,000 円
6717 佐藤 大樹	3,000 円
7006 大場 東貴	2,000 円
65名	185,537 円

【古工建友会報 第87号】

令和3年(2021)年2月1日 発行

発行人:早坂 竜太(37回)

運営委員長:猪股 昭一(29回)

〒989-6145

宮城県大崎市古川北稲葉 3-13-21

古工建友倶楽部内

Tel&Fax 0229-24-3711

【会報編集 STAFF】

編集部長:遠藤 ゆり(45回)

副部長:小林 弦(41回)

部員:千葉 敏明(20回)

〃:佐藤 忠徳(21回)

〃:岡 好和(34回)

〃:高橋 誠一(36回)

〃:遊佐 忠行(38回)

〃:遠藤 秀春(47回)

事務局員:小林恵美子

【印刷所】ハック印刷 TEL 0229-23-8900

〒989-6135 大崎市古川稲葉 1-1-29



令和2・3年度会費 各2,000円 お近くの郵便局より同封の振込み用紙にて記載分をご送金ください。

★銀行からも振り込めます!★ 【振込先口座番号】七十七銀行南古川支店 普通 5233852 古川工業高等学校建友会会長 早坂 竜太